

News Release



令和5年9月25日

各報道機関文教担当記者 殿

文部科学省令和5年度大学教育再生戦略推進費 「大学の世界展開力強化事業」 ～米国等との大学間交流形成支援～に採択

文部科学省令和5年度大学教育再生戦略推進費「『大学の世界展開力強化事業』～米国等との大学間交流形成支援～」に、金沢大学が申請した「多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成」が採択されました。

本プログラムは、高大院接続による高校生の授業科目履修、学士課程、さらには大学院課程の各段階において、以下の特徴を取り入れた多層的な交流プログラムを提供することにより、米国との交流を活性化させるとともに、日米の未来を牽引する、志の高い次世代を担う真のグローバル人材を育成・輩出することを目的とするもので、最大5年間（令和5年度10月事業開始）の事業です。

- (1) 高大院接続の取り組みを通じた Advanced Placement (AP) 科目の導入
- (2) 学士課程における COIL 教育の導入
- (3) 学士課程（専門教育）及び学院課程における「COIL+実渡航+COIL」型カリキュラムの導入

（注：COIL： Collaborative Online International Learning の略称）

本学は、これまで様々な交流を行ってきた米国のニューヨーク州立大学バッファロー校、タフツ大学、カリフォルニア大学デービス校、コロラド大学コロラドスプリングス校、ルイジアナ大学ラファイエット校、ネブラスカ大学リンカーン校、レスリー大学、ハーバード大学と連携した多層的な交流プログラムを推進し、優れた人材を輩出してまいります。そして、これらの大学との国際的な教育・研究交流をさらに発展させることにより、「金沢大学ブランド人材」の育成や世界トップレベルの研究展開を通じた未来知による社会貢献を推進してまいります。

< 「大学の世界展開力強化事業」について >

国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の戦略的受入を行う事業対象国・地域の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的として、文部科学省において平成23年度から開始された事業です

【本件に関する問い合わせ先】

金沢大学国際部国際企画課 西尾/山根
TEL 076-264-5244/5195

【広報担当】

金沢大学広報戦略室 松井
TEL 076-264-5024

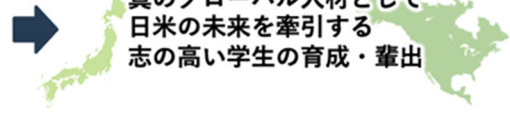
事業の概念図

多層型日米連携協働教育プログラムによる次世代グローバル人材育成

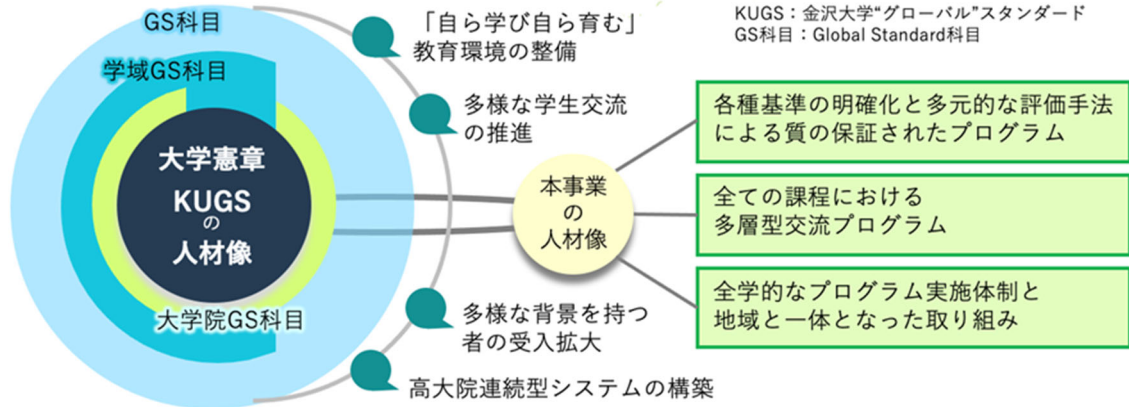
【背景】 交流実績：協定校 大学間：9機関， 部局間：4機関
 現 状：米国との交流が相対的に低下，
 COVID-19により米国に限らず国際交流活動が低迷
 → 次世代交流基盤を構築し，米国との交流を強化
 「米国交流2.0」

【目的】

真のグローバル人材として
 日米の未来を牽引する
 志の高い学生の育成・輩出



KUGS：金沢大学「グローバル」スタンダード
 GS科目：Global Standard科目

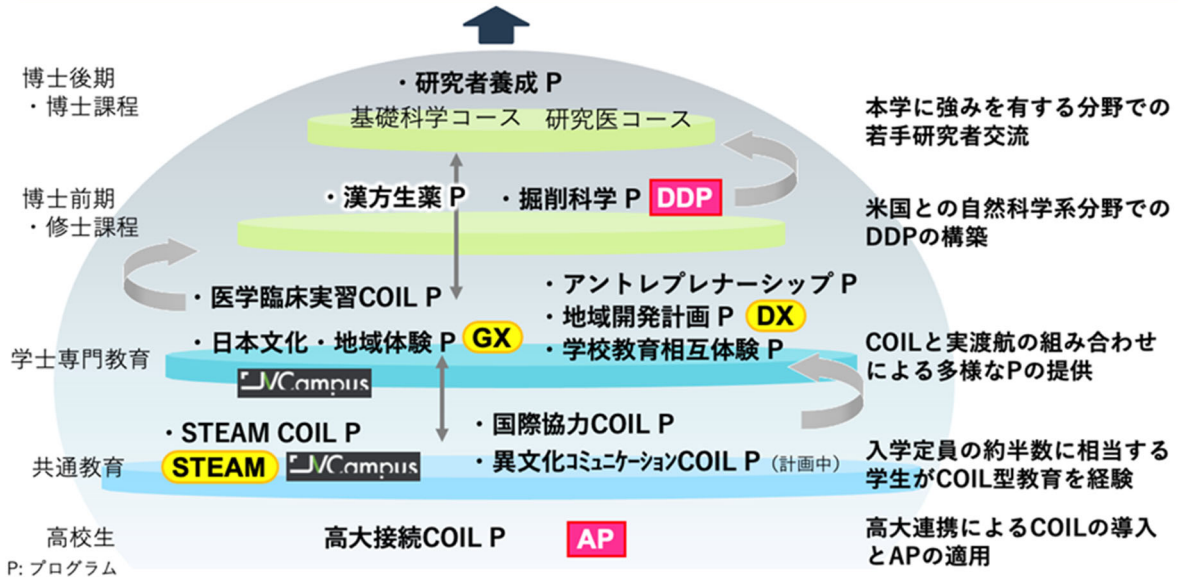


【プログラム概要】 全ての課程における多層的な交流プログラム

本事業で養成する人材像

どのような立場や状況にあっても相手の意見を尊重しつつ自身の意見を明確に示した上で，
 多様な背景を有する人たちと協働して新しい価値を生み出し未来を創造していくことのできる人材

専門知識 + コミュニケーション能力， 包摂性， 先見性， 課題解決能力



【質保証】 各種基準の明確化と多面的な評価手法による質の保証されたプログラム

学生の学びに対する動機づけ

- ・学修ポートフォリオの作成
- ・「学びの計画書」の導入
- ・BEVIを用いた自己評価

主観評価

自己認知的な学修評価

客観評価

客観的評価の精緻化

単位認定・学位授与基準の「明確化」

- ・シラバスの共有
- ・マイクロレディンショナル実施基準とオープンバッジ授与基準の明確化
- ・学位授与基準の合意文書作成

- ・プログラム修了証の授与
- ・オープンバッジの付与